

★遺伝子組み換え作物とゲノム編集食品の未来を考える★

～途上国で GM 作物を栽培する女性たちのレポート～

遺伝子組み換え（GM）作物は 1996 年から世界で流通し、日本では主に食用油の原料や家畜の飼料などに使われていますが、商業目的の栽培は実現していません。GM作物は一般に大規模農家にしかメリットがないかのようなイメージが流布していますが、フィリピン、インドネシア、インドなど開発途上国で広く普及しています。しかも、小規模な農家にとっても「農薬の削減」「収量の増加」など大きなメリットがあります。今回はフィリピンとインドネシアでGMコーンを栽培する女性農家 2 人を招き、GM作物最前線を報告していただきます。一方、日本では「血圧上昇を抑える」など健康によいトマト、「肉付きのよいタイ」「成長の速いフグ」など日本発のゲノム編集食品が市場で流通しています。今後、バイオテクノロジーと農水産業はどうなるのでしょうか。徹底討論します。

・・・・・・・・開催概要・・・・・・・・

【テーマ】「遺伝子組み換え作物とゲノム編集食品の未来を考える」

【日時】2024 年 11 月 29 日（金）13 時半～16 時 15 分

【場所】キャンパスプラザ京都（京都市下京区東塩小路町 939(075・353・9111)

アクセス（京都駅烏丸中央口から徒歩 5 分）

【主催】「遺伝子組み換え作物の映画実行委員会」、

【協力】「Bio Breeding 研究会」

【プログラム】 司会進行 小島正美（元毎日新聞編集委員）

1 基調講演（逐次通訳 2 人が付きます）

演者 Ms.Rosalie Ellasus さん(フィリピン、害虫抵抗性 GM コーン栽培)

Ms.Faucik Endang Lestari さん（インドネシア、同 GM コーン栽培）

2 パネルディスカッション（進行役：小島正美）

パネリスト：徳本修一氏（鳥取市の農業生産者）「日本 GM 作物の将来について」

：山口タ（大阪公立大学准教授）「ゲノム編集食品の理解に向けて」

：龍谷大学農学部の学生 3 人「ハワイの GM パパイア視察報告」

※Zoomによるライブ配信も実施します

【参加費と定員・特典】無料。80 人。会場の参加者には「フェイクを見抜く」（唐木英明・小島正美共著・2090 円）、「食の安全の落とし穴」（山崎毅・小島正美共著・1540 円）、「アルコールで走る車が地球を救う」（小島正美ら 4 人執筆・1760 円）のどれかを進呈します。

【参加方法】参加希望者は 11 月 26 日までに以下から申し込んでください。

<https://forms.gle/944Z8kmpcowsWJkB7>

【問い合わせ】小島正美（080-4864-6080、kojima-1225@outlook.jp）＝小島宛へのメールの申し込みでも参加は可です。

《パネリストの略歴》

■ **Fauci Lestari** さん (写真右上)。1975 年生まれ。ジャワ島中部に住む。2 年前から所有面積 1 ha で遺伝子組み換えトウモロコシ「GMDK95R」(グリホサート耐性、害虫抵抗性、べと病抵抗性)を栽培。コメの栽培も行い、コーンは年に 2 回栽培。両親から農業を学び、2002 年からコメと籾などを販売するビジネスを営む。GM コーンの収量はよく、満足している。



■ **Rosalie M.Ellasus** さん (写真右下)。1960 年生まれ。元市議会議員 (3 期)、フィリピン・パンガシナン州サン・ハシント市の防災担当官も務める。2000 年に総合的病害虫管理農民学校 (Integrated Pest Management Farmers Field School) に参加したあと、GM 作物などバイオテック農業に関心を抱いた。2003 年から Bt コーンを栽培。いまは約 12ha (うち自己所有は約 1.3ha) で栽培し、フィリピンの「BT コーンの女王」と呼ばれている。農民の権利を推進するリーダーシップも発揮している。



■ **徳本修一** (とくもと・しゅういち) 氏 = トゥリーアンドノーフ株式会社代表取締役。日本バイオ作物ネットワーク理事長。グローバルファーマーネットワークメンバー。2012 年、異業種から農業へ参入。鳥取市の 110ha の農地で水稻、飼料トウモロコシ、小豆を生産。2020 年に始めた農業現場のファクトを発信する自社 YouTube チャンネルは、総再生数 1600 万回を超える農業メディアとして成長中。2023 年にバイオテクノロジー農業の健全な議論を目指し、国内外のプロ農家が集う日本バイオ作物ネットワークを設立。日本での GM 作物生産の可能性も模索中。

■ **山口夕** (やまぐち・ゆうべ) 氏 = 大阪公立大学大学院農学研究科准教授。2001 年、奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科博士後期課程修了。米国ワシントン州立大学生化学研究所 博士研究員、北海道大学大学院農学研究院 (特任) 助教、大阪府立大学大学院生命環境科学研究科准教授を経て現職。

■ **龍谷大学農学部学生** = 孫逸凡さん (2 年)、廣田流生さん (3 年)、相宮拓人さん (3 年) の 3 人。龍谷大学では 2020 年から、GM パパイア、コーヒー、アンズリウムなどハワイの農業を現地で学ぶ実習を続けている。3 回目の今年も、孫さんら 3 人が参加、GM パパイアの開発現場、栽培圃場、選果場などを見学・体験した。3 人は「収穫後生理学」などを学ぶ。

■ **小島正美** (こじままさみ) 氏 = ジャーナリスト。1951 年生まれ。愛知県立大学卒業。毎日新聞社松本支局などを経て、東京本社生活報道部で食の安全、環境・医療・健康問題を担当。2018 年に退職。東京理科大学非常勤講師、「食生活ジャーナリストの会」代表を歴任。現在は「食品安全情報ネットワーク」共同代表。「フェイクを見抜く」(共著) など著書多数。